

ぶどう「シャインマスカット」の省力化栽培技術の実証

要約

ぶどうの新規栽培者において、花穂整形器やジベレリン処理機（以下G A処理機）を使用することにより、花穂整形（花摘み）やG A処理にかかる作業時間が慣行栽培に比べて約4割短縮し、房づくり等の省力化が実証された。

○ 展示のねらい

収益性の高いぶどう「シャインマスカット」は、花穂整形やG A処理などに多くの労力を要することから、房づくり等の省力化技術を実証することで、遊休ハウス等を活用したぶどうの新規導入を推進するための資とする。

○ 主な成果

10a 当たりの花穂整形にかかる時間は、慣行では 21.8 時間、花穂整形器を使用すると 11.4 時間と慣行の 52%の時間で処理を行うことができた。また、10a 当たりのG A処理時間は慣行で 17.0 時間のところ、処理機を使用すると 12.6 時間と慣行の 75%で処理を行うことができた。

両機材を併せた作業時間は10a 当たり 24.0 時間と慣行栽培の 38.8 時間と比較して 38%短縮された。

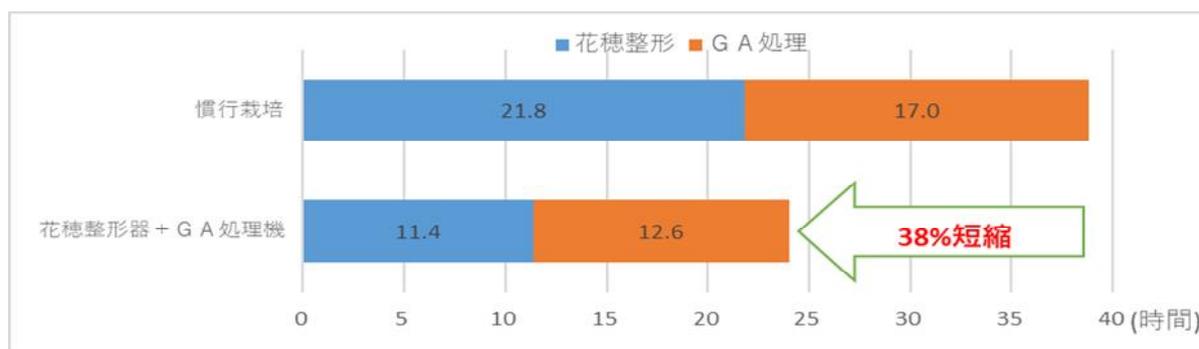


図1 10a 当たりの花穂整形及びG A処理の作業時間



写真1 花穂整形器



写真2 G A 処理機



写真3 栽培マニュアル

○ 今後の方向性

花穂整形器、G A処理機はぶどう栽培の経験がない生産者にとって省力技術の一助となることから、両機材を取り入れた「遊休ハウス等を活用したぶどう『シャインマスカット』栽培導入マニュアル」を活用し、新規導入者の確保を図るとともに、関係機関と連携して新たな産地づくりを目指す。

実施機関：塩谷南那須農業振興事務所経営普及部 実施場所：塩谷町

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315